

## 第4回 草津市農業振興計画審議会 会議録

### ■日時：

令和3年12月27日（月）9時30分～

### ◆場所：

草津市役所8階 大会議室

### ■出席委員：

松原委員、吉川委員、小川委員、浜口委員、田中委員、堀委員、中西委員、中嶋慶喜委員、森委員、  
宮本委員

### ■欠席委員：

金子委員、西岡委員、清水委員、中嶋広美委員、箕浦委員

### ■事務局：

環境経済部 寺田部長、太田副部長

農林水産課 舟木課長、廣田課長補佐、柳原課長補佐、西川副係長、棚橋主査、井上調整員

農業委員会事務局 相井局長、服部参事

草津用水土地改良区 田中課長

### ■傍聴者：

なし

## 1. 開会

---

### ●事務局

委員の半数以上の出席があり、草津市付属機関運営規則第6条第1項により、審議会の成立要件を満たしていることを報告。

今回の会議は公開とし、後日会議録をHPで公開することを報告。

新型コロナウイルス感染症対策の説明。

### ●寺田環境経済部長

開会の挨拶

## 2. 審議

---

### ●事務局

資料1、2、3、4について説明

- ・第2次草津市農業振興計画（素案）について（第3回草津市農業振興計画審議会（8/27）での意見と対応）〈資料1〉
- ・第2次草津市農業振興計画（素案）について（庁議などでの指摘事項と対応）〈資料2〉
- ・第2次草津市農業振興計画（概要版）〈資料3〉
- ・第2次草津市農業振興計画（本編）〈資料4〉

●委員

滋賀県では平成 15 年に「滋賀県環境こだわり農業推進条例」を策定し、全県的に環境にやさしい、琵琶湖にやさしい農業を推進してきたのでその文言の追記をお願いしたい。

素案は私どもの意見も踏まえ修正されており、よりよいものを作っていただけてよかった。

●委員

今回御提示いただいた計画案はこれまでの私からの成果目標等に関する意見についても反映され、全体的にもよくまとまった内容になったと感じている。

また以前紹介をさせていただいた「みどりの食料システム戦略」は 2021 年 5 月に策定された 2050 年までの中長期目標であり、まだ目指すべき方向が示されたという段階で実際の取組はこれからであるが、県全体、草津市としてもぜひ進めていただきたい。また、草津市は滋賀県の中でも子どもが多く人口が増えているイメージがあるので学校教育の中などで農のつながりについて取り組んでいただければと思う。

●委員

本編 44 ページ、計画の推進体制の中で、JA の立ち位置を改めて共有していただいている内容になっているが、農業者と市民の間もつながりのある表現していただくと今の活動と近づくと思うがどうか。

●事務局

御指摘のとおり、市民にもつながりのあるような表記で修正させていただければと思う。

●委員

この事業計画案は多岐にわたり詳細に分析いただき誠にありがたい。私ども生産者としてはハードルの高い部分もあると思うが、どれでもよいのでやりやすいものをいかに具体化して実行いただけるかということが一番期待したいところである。目に見える形でよくなってきたと感じられるようにしていただければありがたい。

●事務局

事業については各具体的な取り組み事例等を記載している。できる限り着手できるものについては関係機関等々と調整させていただきながら進めてまいりたい。

●委員

本編の 41 ページ、主な関連主体の役割について、農業者の欄にある『「農」へのふれあいや体験型イベントについて、市民が楽しく「農」に関わることができるよう、協力します。』とある。私が今やっている蓮根を収穫しているシーンや、カットして洗っているところを小学生に見学してもらっているが、子ども達が非常に興味を持っていて、新しい知識ができたことで農業に関心を持ってもらったのかなと思う。市内で小学生との取り組みは田植えが多いと思うが、さらに野菜等多品目なもので子どもたちの体験を増やし、親御さんも含む市民との交流を積極的に行えると面白いと

思う。

●事務局

先程農業体験の人数を2,000人から2,300人に増やすという説明をしたが、現在稲作を学校の授業の中で行っていることに加え、本編の40ページに記載されている家庭菜園、ベランダ菜園の推進や、未就学児童も含めた農に触れ合う食農教育の取り組みを今後進めていきたいと考えている。小さい子どもが関心を持って大きくなることは、草津市にとって大きな宝になってくると考えている。

●委員

家で幼稚園の子どもを集めて野菜の体験をさせている。小学校では田植えの体験があるが、幼稚園ではあまりない。個人的に子どもを集めてやっていると非常に生き生きしてくる。市でも今後力を入れていってくださるそうだが、身近なところからできることをやっていただきたい。子どもの小さい時の関心というのはそのまま大きくなって続けていけるかではなく、根底に流れ、長く生かされているものだと思う。小さい時からの体験を進めていっていただきたいし、家族に対して情報発信や農業のふれあいも進めていただきたいと思う。

●事務局

未就学児に対しても農業を通して触れ合う農業体験の人数を増やしていこうと思っている。実際に食べているものがどういった過程で大きくなっていくかを知ることが非常に大事なことであり、それはまた関心や地産地消、食農にもつながると思う。今後とも関係機関と調整しながら、また決まり次第皆さんのほうにPRしていきたい。

●会長

子どもの体験で非常に大事なものは、触れるという生の体験である。草津は幸いにして土壌があり農業や農地に触れる場はたくさんあるので、立地条件を生かすことが大変重要ではないか。

●委員

45ページ、PDCAサイクルの説明についてであるが、3つの方針があり、それぞれに14年度の目標と8年度の中間の確認というのが示されている。数値のPDCAという形のチェックをしていただけたらと思うが、なぜこのような目標にするのかが理念の中にあると思うので、この行動することで、理念に掲げている方向に本当に向いているのかというチェックをしていただきたい。今後の行政の皆さんの担い手へつないでいてほしい。

●事務局

手段、目的を明確に持って取り組んでまいりたい。

●委員

未就学児への農業体験は非常によいと思うが、中学生等の職業体験に農業もあるのか。また高校生、大学生のインターン制度は農業でも行っているのか。

●事務局

中学校が特定の農家で職業体験しているということは把握していない。

●委員

北山田地区での個人的な感想だが、草津市小学生の社会見学授業の中に畑の見学があり、特にメロンの時期に観光バスで来ていただいている。中学生はJA等の各事業を行っている場へは体験に来ているが、農業自体の体験を行っているかは不明であり、高校も特にないと思う。大学では滋賀医大に希望者を募って農業体験に毎年来ていただいている。恐らく実習が単位にもなるのだと思う。また山田小学校の場合は毎年、愛彩菜というブランド野菜を2年生の生徒に育てていただいているが、野菜嫌いの生徒が自分で育てた野菜が成長し、嫌いなものであるが食べられた等の体験もさせていただき農業者にとっては非常にありがたかった。このように小学校は比較的カリキュラムの中に取り入れていただいております、市内の小学生は何らかの形で農業を経験していただいているかと思うが、それ以外はほとんど無いのではないかと。

●委員

草津市の湖南農業高等学校農業科の3年生が約1週間来られ、野菜や水稻の農業を行ったり、また農業大学の学生が、6月から約2か月間実習に来られたりしている。

●会長

職業体験や見学については現在、中学校は必ずしも小学校のようにカリキュラムの中に位置づけて取り組まれていないことが課題である。

●委員

小学生の給食にも草津の野菜がたくさん登場していると思うので、今後給食が始まり中学生もそういう形で少しふれあう機会が増えるのではないかと。

●委員

北海道天塩町の宇野牧場で農業体験をしてきた。そこで現在若手の方で農業に参画したい方が多くいらっしゃるが、実際にどうしたらよいか分からず、どれぐらいのお金が掛かるのか不安なので、仕事を辞めて農業にチェンジすることが難しいという話があった。ひだまり農園さん等がイチゴやトマトを最近始め成功されている実績をオープンにしてもらうことで、農業への参画の仕方が分かればよいと思う。たとえば青年就農を使い補助金が受けられる、農地を借りたい場合に農地中間管理機構でケアをしてもらう事等を公開すれば皆さんも参加しやすくなるのではないかと。検討していただきたい。

●事務局

新規就農者の受け入れ体制として土地情報を提供し、農業委員会と共に新規就農相談に対応させていただいている。また農業塾を開催しノウハウを新規就農者へ情報提供をさせていただく機会を

設ける等を考えている。

●会長

本日いただいた御意見については会長預かりとさせていただきます、答申を作成させていただきます。

### 3. その他

---

●事務局

今後のスケジュールについては、御審議いただいた内容を踏まえ、1月の下旬に会長に答申の案をおまとめいただき、1月中に答申の手続きを進めさせていただきたい。また1月の下旬までに、パブリックコメントの準備を進め、2月の1日から3月の2日にかけてパブリックコメントの募集を実施し、その後内容等精査し3月の下旬に策定という方向で進めていきたい。

来年以降の審議会については、現在の委員様の任期は9月末であり、来年度も現在の委員様の任期の中で1度開催したい。例年は前年の進捗確認、その年度の予定について審議いただくが、来年度は初年度であるため、その年度に行う予定について御審議をいただきたい。

### 4. 閉会

---

●寺田環境経済部長

閉会の挨拶